

「学校施設の目指すべき姿」の実現に向けた検討について

学校施設の目指すべき姿（修正案）

- 1 安全性の確保
- 2 学習環境の向上
- 3 生活環境の向上
- 4 地域とともにある学校施設づくり

課題

- 1 学校の施設・設備の性能や機能について、整備水準等が統一されていない。
- 2 現状において、本市には老朽化が進行した学校施設が多数存在し、安全性を確保するだけで、多額の費用を要する。
（老朽化が進行した施設は、「改築」することが望ましいが、莫大な費用を要する。）
- 3 「学校施設の目指すべき姿」の実現に向けた整備には多額の費用を要し、現実的には全てを実施することは困難であるため、「優先度」や「整備のタイミング（新築・改築時に対応するもの、速やかに実施するもの 等）」などについて、検討が必要である。

施設整備の考え方

「施設整備の考え方」として検討・整理が必要

※資料3-3参照

「学校施設の目指すべき姿」の実現に向けた整備項目（例）

太字・下線は現在実施しているもの

1 安全性の確保

- 大規模改造
（建物内外部・屋上・各種設備・給食室等の改修）
- 外壁改修
- 各種設備改修
（給排水・電気・機械・防火 等）
- 非構造部材等耐震対策
（ガラス、吊り天井、照明器具等の耐震対策 等）
- 防犯カメラの整備
- 防災無線の整備
- 防災備蓄倉庫の整備
- 蛇口付受水槽の整備
- 防災対応トイレの整備
- 災害時の生活用水確保のための井戸整備
- 大容量バッテリーの整備 等

2 学習環境の向上

- 教室環境の改善
（床・壁・天井・照明の改修 等）
- ICT環境整備
（コンピュータ室整備、Wi-Fi環境整備、
タブレット 等）
- 多目的スペース整備（※）
- ランチ用スペース整備（※）
- キャリア・カウンセリングルーム整備（※）
- 可動間仕切り等による小空間整備
- 図書室への自習スペース整備 等

3 生活環境の向上

- 教室環境の改善
（ロッカーの改修 等）
- トイレ改修
（洋式化、衛生環境の改善 等）
- バリアフリー化
（E V、スロープ整備 等）
- エアコンの整備
- エコ改修
（ひさし設置、断熱性向上、通風の改善 等）
- 太陽光発電設備の整備（※） 等

4 地域とともにある学校施設づくり

- 放課後事業専用スペース整備
（子どもルームの学校内設置（※）、
放課後子ども教室専用スペース整備 等）
- 他の公共施設との複合化
（公民館・図書館・高齢者施設・子育て関連施設
等との複合化 等）
- 地域活動の拠点確保 等

※一部の学校で余裕教室の利用等によって実施している事例有